

◆グレーゾーンを生み出す？ 分担作業のリスク◆

さて、あなたは「分担作業」と「チームプレイ」の違いを知っていますか？

◆ ----- ◆ グレーゾーンを生み出す？ 分担作業のリスク ◆ ----- ◆

企業は目標達成のために、計画を立てて業務を分担します。
分担作業は、仕事の効率化に欠かせません。また、個々の長所を活かして仕事を割り振れるメリットもあります。

しかし分担作業がうまくいかず悩んでいる企業もあるようです。
実は、分担作業には弱点があります。
それは担当業務を決めることで誰も対応しない「グレーゾーン」が生まれてしまうことです。

野球でいえば、センターとレフトの間にボールが飛んできた際
そこは自分の担当ではないから...と、どちらも動かない状態です。
こうなると、役割分担したことがマイナスにしかなりません。

この状況が職場で起こると、「この仕事はそっちの部署の担当だろう」と、責任を押し付け合う事態になります。
では、社内での役割分担をプラスに働かせるにはどうすれば良いのでしょうか。

ある企業が始めたのは、
■会社の目標を定期的に共有することでした。

分担作業に集中すると、自分の役割をまっとうすることが最優先になってしまい、最終的な目標を見失いがちです。

しかし、この企業で会社の目標を定期的に共有するようになったところ、
業務を行なう時の社員の意識が変わってきたといいます。

以前は、自分の役割だけに意識が向いていたので、
グレーゾーンの対応まで手が回りませんし、気づかないことすらあったそうです。
しかし全員の意識が会社の目標に向いた途端、自ずと協力体制が生まれるようになったといいます。

「分担作業」と「チームプレイ」の違いは、
仕事に対する意識が各々の仕事に向かうか、会社の目標に向かうか、です。

もし、社内で業務のグレーゾーンが発生していたら、改めて会社の目標を語ることから始めてはいかがでしょうか。
今回の情報を貴社の経営にお役立ていただけますと幸いです。

□ ■ □ -----
編集後記
----- □ ■ □



今回は「分担作業のリスク」についてお伝えしました。
分担作業はメリットもありますが、視野が狭くなるリスクもあります。

当社も、全員が一つの着地点に向かって進んでいけるよう、会社の目標を改めて浸透させようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

